

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和4年9月12日（月）

2 確認箇所

- ・増設多核種除去設備（C）
- ・旧Cタンクエリア

3 確認項目

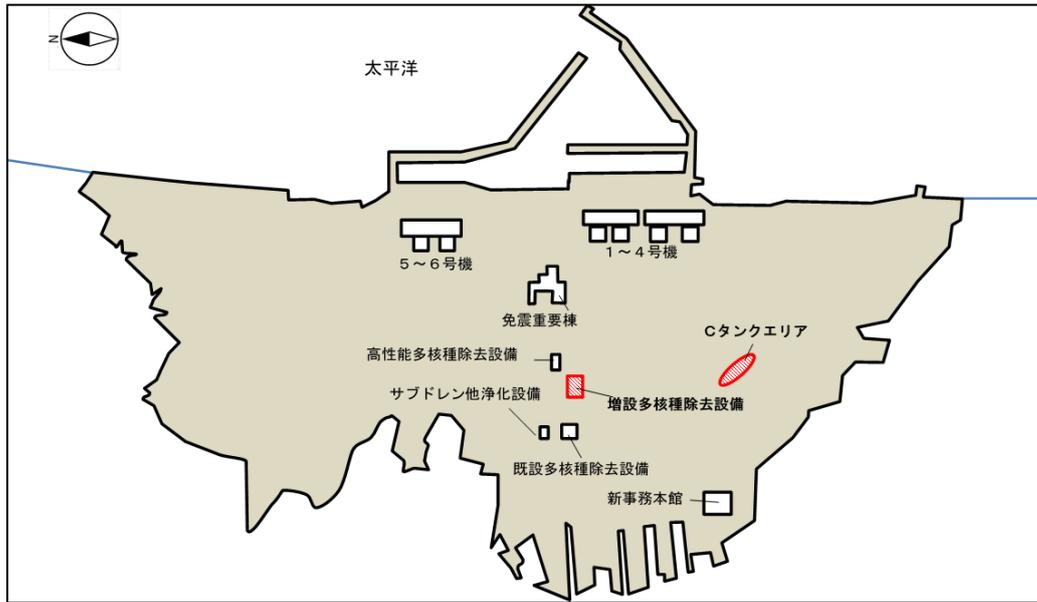
- （1）増設多核種除去設備（C）クロスフローフィルタスキッドからの漏えい事象の対応状況
- （2）旧Cタンクエリアの状況

4 確認結果の概要

- （1）増設多核種除去設備（C）クロスフローフィルタスキッドからの漏えい事象の対応状況について

増設多核種除去設備（C）のクロスフローフィルタスキッドにおいて、本日（9月12日）8時35分頃、作業中に配管から漏えいが発生したとの情報があったことから対応状況を確認した。（図1）（写真1）

- ・現地確認時には漏えいは停止しており、漏えいした水は鋼製の堰内に留まっていた。（写真2）
- ・東京電力の担当者が状況の確認を行っており、作業員が漏えいした水の拭き取りを実施していた。（写真3）
- ・東京電力によると、増設多核種除去設備（C）は停止中であり、設備点検作業で配管を外したところ漏えいが発生し、その後配管を取り付け漏えいが停止したとのことである。また、漏えいした水はろ過水とのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
増設多核種除去設備建屋内の状況
(北西側から撮影)

※手前がA系で写真奥側がC系



(写真1-2)
増設多核種除去設備(C) クロスフ
ローフィルタスキッドの概観
(西側から撮影)



(写真2)
漏えい箇所の状況（西側から撮影）

※赤丸印が漏えいがあった箇所



(写真3)
東京電力担当者の現場確認の状況
（西側から撮影）

※赤丸印が漏えいがあった箇所

(2) 旧Cタンクエリアの状況について

令和2年10月にフランジ型タンクの解体が完了した旧Cタンクエリアの現況を確認した。（図1）（前回確認日：令和2年10月7日）

- ・旧Cタンクエリアのフランジ型タンク解体跡地には、コンクリート基礎が構築されており、現地確認時にはコンクリート基礎表面の清掃作業を行っていた。（写真4）
- ・前回確認時にはコンテナや資機材が仮置きされていた旧Cタンクエリア東側隣接地もコンクリート基礎が構築されていた。（写真5）



(写真4-1)
旧Cタンクエリアのコンクリート基礎構築状況①（南東側から撮影）



(写真4-2)
旧Cタンクエリアのコンクリート基礎構築状況②（北西側から撮影）



(写真4-3)
コンクリート基礎表面の清掃作業の状況
（エリア北西側を北側から撮影）



(写真5-1)
旧Cタンクエリア東側隣接地の状況
（前回(令和2年10月7日)東側から撮影）



(写真5-2)
旧Cタンクエリア東側隣接地の状況
（今回(令和4年9月12日)東側から撮影）

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。